

# 北陸学院大学の教育方針

子ども教育学科／社会学科

北陸学院大学は、キリスト教精神に基づいて人間についての理解と学びを教育や社会の視点から総合的にとらえ、知識を統合していくことを教育及び研究上の目的とし、その達成を通じて専門的知識とともに幅広い教養に裏打ちされた心の豊かさや人間的資質を備えた人材の育成を目指します。

## アドミッションポリシー 〈入学者受け入れ方針〉

北陸学院大学では、聖書に示された愛の精神に基づき、人と地域社会に貢献できる人材の育成を目指し、以下の入学生を受け入れます。

学部共通	1. 専門的な知識と技術を身につけるために必要な基礎学力を有している者(＊) 2. 物事を多面的かつ論理的に考察することができる者 3. 自己の考えを的確に表現し、伝えることができる者 4. 北陸学院のスクールモットーである「Realize Your Mission(あなたの使命を実現しよう)」という精神に賛同する者
子ども教育学科	5. 保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭(英語)・高等学校教諭(英語)を目指し、学業に意欲的に取り組むことができる者 6. 人間の発達や成長に関心のある者
社会学科	5. 社会のさまざまな課題に意欲的に取り組むことができる者

＊入学に際し基礎学力テストを実施して、英語・日本語の基礎学力が不足している場合には、「英語基礎」、「日本語基礎」の学びを義務づけます。

## カリキュラムポリシー 〈教育課程の編成方針〉

北陸学院大学では、教育理念に掲げた人材を育成するために、人間総合学部子ども教育学科と社会学科を置き、以下のような方針に基づいてカリキュラム(教育課程)を編成します。

学部共通	1. 学部の掲げるディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)を達成するために、4つの科目群を配置し、系統的な履修を促す。「全学共通科目」群(「北陸学院科目」、「総合教養科目」、「言語教育科目」、「スポーツ・健康科目」、「キャリア教育科目」)、「基幹科目」群、「学科専門科目」群、「資格科目」群。 2. 学生の学修能力の発達状況に合わせた段階的な科目配置を行う。大学での学びに必要なスタディスキルから始まり、主体的な学びに必要な課題探究能力、批判的分析思考能力、情報リテラシー、コミュニケーション能力など、社会において欠くことのできない能力の育成を達成するために、「基礎ゼミⅠ・Ⅱ」(1年次)、「プロゼミA・B」(2年次)、「専門ゼミⅠ」(3年次)、「専門ゼミⅡ」(4年次)などを配置する。 3. 学生が自ら目指す進路・資格取得に必要な学習を支援するための学科別教育課程を配置する。 4. 専門的な知識と方法論を系統立てて学ぶために、「初等・中等教育コース」、「幼児・児童教育コース」、「幼児教育・保育コース」を置く。 5. 1年次より現場体験学習を重視し、理論的学びと連動させる。 6. 人格形成や教育学の視点から、子どもの育ちや発達に関する学科専門科目を配置する。 7. 保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭(英語)・高等学校教諭(英語)の資格科目を配置する。
子ども教育学科	5. 1年次より現場体験学習を重視し、理論的学びと連動させる。 6. 人格形成や教育学の視点から、子どもの育ちや発達に関する学科専門科目を配置する。 7. 保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭(英語)・高等学校教諭(英語)の資格科目を配置する。
社会学科	4. 社会への理解を深めるために、データに基づき社会の様々な現象を検証する技能を理論的に身につけることを重視する。 5. 1年次では、社会学とその関連領域および社会調査に関する基礎的な知識・技能を学び、2年次からの専門的な学びにつなげる。2年次以降に、学科専門科目の基礎となる科目群として「基本科目」、より専門性の高い「応用領域」として「文化と共生」、「くらしと政策」、「心理と社会」の科目群を配置する。 6. 自らの専門性と学習目標を認識し、系統的に履修できるよう、上記の科目の組み合わせより「現代社会・国際理解コース」、「心理・カウンセリングコース」、「環境福祉マネジメントコース」、「政治経済・経営コース」、「情報・図書館司書コース」の履修モデルコースを示す。 7. 社会福祉士、スクールソーシャルワーカー、認定心理士、社会調査士および司書に関連する資格科目を配置する。

## ディプロマポリシー 〈卒業認定・学位授与についての方針〉

北陸学院大学では、以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定します。

学部共通	1. 全学共通科目の履修を通して幅広い知識と教養を身につけている。(知識・理解) 2. 学科での学びを通して、自ら課題を設定して探究することができる。(関心・意欲)
子ども教育学科	3. 4年間での学びを通して、自らの考えを口頭や文章によって的確に他者に伝えることができる。(技能・態度) 4. 幼児教育及び初等・中等教育において、保育者・教育者の役割や職務内容をよく理解している。(知識・理解) 5. 子どもの育ちや発達、英語・英語教育に関する専門的知識に基づき、幼・小・中・高の教育連携、自らの教育観並びに保育観、子ども観を自分の言葉で語り、実践できる。(思考・判断) 6. 子どもの育ちや発達に関する専門的知識に基づき、子どもや保護者に寄り添って自らの教育観並びに保育観、子ども観を自分の言葉で語り、実践できる。(態度)
社会学科	4. 現代社会が直面する問題を、社会学を中心に心理学・社会学などのその他関連領域の理論と実証的データに基づいて理解できる。(知識・理解) 5. 現代社会が直面する問題の解決のために、自ら設定した課題を探究し、貢献できる。(態度) 6. 現代社会が直面する問題の解明のために、実験・社会調査・フィールドワークができる。(技能)

# 北陸学院大学短期大学部の教育方針

食物栄養学科／コミュニティ文化学科

北陸学院大学短期大学部は、キリスト教に基づくホスピタリティ(他者への思いやり)を通じて、学生一人ひとりを大切にし、良き社会人として豊かな教養と汎用的な専門知識・技能を身につけ、生涯にわたり、積極的に地域社会に貢献できる人材を養成することを教育の理念として掲げています。

## アドミッションポリシー 〈入学者受け入れ方針〉

北陸学院大学短期大学部では、聖書に示された愛の精神に基づき、人と地域社会に貢献できる人材の育成を目指し、以下の入学生を受け入れます。

2 学科共通	1. 専門的な知識と技術を身につけるために必要な基礎学力を有している者(＊) 2. 物事を多面的かつ論理的に考察することができる者 3. 自己の考えを的確に表現し、伝えることができる者 4. 北陸学院のスクールモットーである「Realize Your Mission(あなたの使命を実現しよう)」という精神に賛同する者
食物栄養学科	5. 「食」を通して人びとの健康に貢献したいと考え、行動しようとする学習意欲の高い者
コミュニティ文化学科	5. 自らの将来を切り開こうという意欲を持つ者

＊入学に際し基礎学力テストを実施して、英語・日本語の基礎学力が不足している場合には、「英語基礎」、「日本語基礎」科目の学びを義務づけます。

## カリキュラムポリシー 〈教育課程の編成方針〉

北陸学院大学短期大学部では、教育理念に掲げた人材を育成するために、食物栄養学科とコミュニティ文化学科を置き、以下のような方針に基づいてカリキュラム(教育課程)を編成します。

2 学科共通	1.ホスピタリティの精神を学び、豊かな人間性を身につける科目として、「北陸学院科目」を配置する。 2. 良き社会人となるために必要な豊かな教養を身につけ、自己実現を図ることを目的に、「総合教養科目」、「言語教育科目」、「スポーツ・健康科目」、「キャリア教育科目」を配置する。 3. 問題発見能力と解決能力を養い、自分の考えを適切に口頭や文章で表現することができるよう、基礎的科目と専門的科目を配置し、主体的な学びの方法を獲得する。
食物栄養学科	4. 人間形成や専門的な学びの基礎として、学科基礎科目を配置する。 5. 栄養学の知識・理論を学び、「食」を通して人びとの健康に貢献できる優れた栄養士の養成ならびに実践力を修得できるように、学科専門科目として「栄養士免許科目」を配置する。 6. 学生の目指す進路が広がるように、資格関連科目として「栄養教諭2種免許関連科目」、「フードスペシャリスト資格関連科目」を配置する。
コミュニティ文化学科	4. 人間形成や、キャリアデザインを考える土台となる思考能力・態度を養うために、学科基礎科目は「教養」、「ゼミナール」、「キャリア支援」の各科目群で構成する。 5. 一人ひとりの目標と関心に応じた知識・技能を修得できるように専門教育科目を配置し、「専門基礎」、「ビジネス・経営実務」、「医療事務」、「観光・ホテル」、「英語・異文化理解」の各科目群で構成する。

## ディプロマポリシー 〈卒業認定・学位授与についての方針〉

北陸学院大学短期大学部では、以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定します。

2 学科共通	1. ホスピタリティの学びを活かして、他者を思いやり、意見を尊重し、協働することができる。(関心・意欲・態度) 2. 学んだ知識を活かして自ら課題を見つけ、考え判断して、よりよく問題を解決できる。(知識・理解・思考・判断) 3. 口頭表現や文章表現を用いて自分の考えを適切に伝えることができる。(技能・表現)
食物栄養学科	4. 地域住民の健康増進や食文化の継承・発展に関わろうとする意欲がある。(関心・意欲・態度) 5. 培った専門性を食育推進活動や産業の振興等に活かし、地域社会の発展に貢献できる。(技能・表現)
コミュニティ文化学科	4. 地域社会で求められる知識と教養を身につけている。(知識・理解・思考・判断) 5. 専門的知識や取得した資格を活かし、地域社会に貢献できる。(関心・意欲・態度)